

現代を生きる



パークゴルフを通して 仲間づくり

山本 忠夫さん(元町)



山本さんは、3年前からパークゴルフを始め、平成18年度北海道フレンドリー室内北村大会で総合優勝、SPG杯第9回全日本インドアパークゴルフ選手権で3位の好成績を収めました。

大会で成績を出すのは 難しいことなのですね

「北海道フレンドリー室内北村大会」は、4回の試合の合計得点で争うので平均してハイスコアを出さなければならないので、毎試合緊張の連続でした。

最終戦で逆転し、1点差で総合優勝することができたときは、とても嬉しかったです。

大会に出場するからには良い成績を残したいと思いますが、その日によってコンディションが違い難いです。

同じコースでプレーをしても、芝の状態が違うことで打つ強さも変える必要があり、思い通りにいかないこともあります。

パークゴルフを始めた きっかけは

家の近くにフラワーパークゴルフ場ができたので、軽い気持ちで始めました。

パークゴルフは年配の方のスポーツというイメージがあり、始めることに抵抗があったのですが、ルールが簡単でクラブが1本あればできることに魅力を感じ、今ではすっぴりのめりこんでいます。

以前はゴルフをしていたのですが、妻は家で留守番をしていました。パークゴルフは手軽にプレーをできることから妻も一緒に始め、夫婦で楽しんでいます。

仲間と楽しみながら プレーをしているのですね

毎週土日になると、近所の人やクラブの人と声を掛け合い、10人から15人のメンバーで近くの市町村のパークゴルフ場にも出かけています。

管内の大会にも出場していますが、一緒にプレーをしたり懇親会に参加することで友人も増えました。

最近は、愛好者が増えたことで芝がきれいなところや起伏があるコースなど、魅力的なコースが増えています。

これからも、パークゴルフを通して交流し、仲間と楽しくプレーを続けて行きたいです。